

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会 計画策定・改定 WG

第3回ワーキング会議 議事要旨

日時：令和6年11月12日（火）13:30～15:30

場所：オンライン（ZOOM）

議事：

- （1）補足説明
- （2）災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明  
【災害廃棄物発生量・処理可能量の推計、処理フロー、収集運搬体制】
- （3）演習【災害廃棄物発生量、処理可能量】

議事要旨：

- （1）補足説明  
計算エクセル、北海道版ワークシート（第3版）の修正点、太陽光発電設備の保管等について事務局（応用地質）より補足説明した。

- （2）災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明  
【災害廃棄物発生量・処理可能量の推計、処理フロー、収集運搬体制】  
上記について、災害廃棄物処理計画策定・点検ガイドライン等をもとに事務局（応用地質）より説明した。

- （3）演習問題【災害廃棄物発生量・処理可能量の推計】  
上記について、推計式を説明した後、各市町村の実際の基礎的数値を使用して電卓で演習問題を実施した。

【ご質問】

- 自治体A：計画策定が全然できておらず、着手する時間がない。
  - 事務局（応用地質）：弊社で作成支援する。ワークシートに演習問題の内容を記載したり、「市町村」を「自治体A」に修正するなど、記載できる範囲で記入の上、送付いただきたいと思います。
  - 事務局（北海道地方環境事務所）：過年度に骨子案は作成されていないか。
  - 自治体A：骨子案は作成していないと思う。
  - 事務局（北海道地方環境事務所）：確認して骨子案があれば提供する。
  - 対応状況：環境省より過年度業務で実施した自治体Aの骨子案を提供した。
- 自治体B：仮置場がないと処理計画の策定は厳しいか。

- 事務局（応用地質）：処理計画に仮置場を記載していない自治体は多い。仮置場が決まっていなくても計画策定は可能である。公有地など町内で候補地を検討しておく必要がある。
- 事務局（北海道地方環境事務所）：いくつか候補地をリストアップしておく必要がある。
- 自治体B：候補地はあるが、すでに仮設住宅建設予定地や消防、自衛隊の設置箇所の指定地になっている。1haあたりの土地でかつ公有地となると厳しい状況にある。農耕地でもある観光景観地（XXXXXXXXXX）は観光シーズン以外ならどうか。
- 事務局（北海道地方環境事務所）：農耕地のため、平时に農業委員会と相談し、災害時に一時的な農地転用が可能かどうか確認する必要があるかと思う。
- 対応状況：環境省より仮置場候補地として使えそうな場所としてXXXXXXXXXXのXXXXXXXXXXの情報提供をした。

- 自治体B：災害廃棄物全体量が一般廃棄物年間総排出量の100年に相当すると説明があったのですが、資料何ページか再度教示いただきたいです。
- 事務局（応用地質）：お送りした資料には記載していなかったため送付する。
- 対応状況：災害廃棄物全体量と一般廃棄物年間総排出量を比較した結果を送付した。

- 事務局（北海道地方環境事務所）：大災害になると平時の処理施設では間に合わない。国や道に支援を依頼し、広域処理を実施することになる。
- 自治体B：計画の中に「国・道の支援を含める」と記載する。
- 事務局（北海道地方環境事務所）：外部委託するにも解体廃棄物をいったん集めておく場所が必要となる。仮置場をなんとか確保できるよう検討していただきたい。